

表題	促成スイカの立体栽培に適した品種の特性	機関	農業研究センター 農産園芸研究所
概要： <u>促成スイカの立体栽培</u> は栽植密度が高く、着果率が安定し、増収・生産安定が期待でき、 <u>空洞果の発生</u> が抑えられ、 <u>品質向上</u> が期待できる。品種は収量、品質で「貴ひかり」が最も優れる。			

研究のねらい

スイカは施設野菜の中では特に重労働を要する野菜であり、地這い栽培を主体としているため、作業姿勢が悪く、省力と作業姿勢の改善が求められている。

また、雌花着生が不安定になりやすく、このため過剰な労力を要する場合があります。雌花着生と着果の安定はスイカ栽培において省力化を図るうえで大きな課題である。

このため、促成スイカの立体栽培のための品種を選定するとともに栽培法を検討し、立体栽培の技術確立を図る。

研究の成果

1. 品種は収量、品質面で総合的に優れる「貴ひかり」が最も適する。
2. 立体栽培は地這い栽培より交配期が5～10日早く、収穫期が5～15日早くなる。
3. 着果率は地這い栽培が35.6%に対し、立体栽培は70%前後と高くなる。
4. 立体栽培のa当たりの収穫果数は100～124個で地這い栽培より多くなり、商品果収量も立体栽培が多くなる。
5. 立体栽培は空洞果の発生が地這い栽培より少ない。

普及上の留意点

1. 作型は促成とし、加温栽培を前提とする。
2. 仕立て法は親蔓+子蔓の2本仕立ての1果どりとする。
3. 温度管理は地這い栽培に準じるが、活着期、交配期及び交配直後の果実肥大期は地這い栽培より2～3 高めに管理する。

表1 交配・着果及び収量・品質

表1 交配・着果及び収量・品質

16株平均

品 種	交配日	雌花数	着果率	着果節位	収穫日	収穫果数	商品果収量	秀品率	商品果平均重	空洞果発生率
	月/日	個/株	%	節	月/日	果/a	kg/a	%	kg	%
富士光TR (地這)	2/3	-	35.6	17.9	3/28	45	157	50.0	4.01	37.5
富士光TR	1/24	3.9	69.3	26.2	3/21	116	259	36.4	2.30	0
朝ひかりSR	1/24	3.4	66.3	26.9	3/19	124	307	76.9	2.48	0
貴ひかり	1/24	3.4	77.4	26.1	3/19	124	314	100	2.53	0
HS-7	1/26	3.9	71.2	23.9	3/16	124	246	41.7	1.99	8.3
HS-10	1/28	2.6	70.8	26.2	3/14	124	244	56.3	1.97	6.3
早生天竜	1/25	2.9	68.5	24.9	3/13	124	267	53.3	2.15	13.3
縞王マックスKE	1/27	3.0	66.7	25.8	3/23	112	322	60.0	2.86	0
ヨゾラ44	1/23	3.7	67.2	26.5	3/18	124	280	20.0	2.41	0
ミドル	1/29	3.4	36.2	30.4	3/21	100	227	62.5	2.28	25.0

立体栽培の雌花数及び着果率は親つるの10～35節を調査

表2 果実特性

表2 果実特性

8果平均

品 種	果形比	果皮色	果肉色	果皮の		糖度(Brix)		果肉の硬さ	果肉のくずれ	黄色帯	空洞
				厚さ	種子部	中心部	mm				
富士光TR (地這)	0.97	3.1	3.3	13.8	11.5	11.9	0.338	1.7	1.8	1.8	
富士光TR	0.95	3.4	2.3	12.6	12.0	11.7	0.376	0.8	1.9	0	
朝ひかりSR	0.95	3.7	2.4	12.1	11.5	11.8	0.411	1.4	2.5	0	
貴ひかり	0.96	3.9	3.3	13.4	11.6	11.9	0.406	0.8	1.3	0	
HS-7	1.00	4.1	2.7	12.2	11.4	11.5	0.346	1.7	2.2	1.4	
HS-10	0.96	3.9	2.8	13.8	10.5	11.4	0.310	2.6	1.9	2.0	
早生天竜	0.97	3.5	2.4	12.2	11.3	11.7	0.268	2.4	1.9	1.0	
縞王マックスKE	0.95	3.0	2.3	14.1	11.9	11.9	0.372	0.9	1.9	0	
ヨゾラ44	0.94	4.4	2.6	12.7	11.4	12.0	0.366	1.3	1.5	0	
ミドル	0.97	3.5	2.0	12.1	12.1	12.7	0.342	1.9	2.5	0.4	

果肉の崩れ・黄色帯・空洞：0～5（無～甚）



写真1 スイカの立体栽培